

日本倶楽部の徽章について



この度、日本倶楽部の徽章が出来上がりました。このデザインは100年以上前から倶楽部内の各所で使われていたものです。特待会員への顕彰品として作成することになり、デザインの専門家である岩倉信弥多摩美術大学名誉教授の助言により、詳細な形状、色、質感、大きさなどを決め、制作されたものです。同顕彰品は純銀製に金メッキを施してあります。

岩倉氏は現在本田技研工業の社友で、入社後、ホンダを代表するシビック、アコード、オデッセイなどの車のデザインやホンダ車のエンブレムを手掛けておられます。岩倉氏に初めて倶楽部のエンブレムをご覧いただいたとき、この桜を象ったデザインはまさに、創設に関わった先人たちの思いが形になったもので、特にこの一筆書きのデザインは誰にでも考え就くものではないが、誰でも描けるデザインでもありますとのコメントをいただき、倶楽部の徽章として誇れるものになると確信いたしました。

また、桜のデザインは日本人の心につながるというコメントも倶楽部の徽章に相応しいものと思われました。本居宣長の歌「敷島の・・・」にあるように、日本人の「大和心」とは桜の美しさを知り、その麗しさに感動する心とのことでした。



特待会員向けの顕彰品と同様にして一般会員向けには純銀製に銀色ロジウムメッキを施して制作しております。日本倶楽部の目的である「会員相互の親睦を厚くし、知識を交流して品格識見の向上を図り、もって社会一般の発展に寄与する」のに相応しい徽章です。

日本倶楽部の会員であることに誇りを持ち、日本人の心を持ち、胸を張ってこの徽章を掲げ、日本倶楽部と社会の一層の発展に貢献できればと考えます。

【ご希望の方は、事務局にて1個5,000円（現金もしくは会費とご一緒の精算）でお渡し致します】